

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	ITキャリアデザイン I		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	必修		
授業方法	講義		
授業時間	30時間（1単位）		
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）		
授業概要	面接試験で求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と実技的な演習		
達成目標	面接時の入退室及び自己PRが出来るようになる		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	就職の心構え	31
	2	自己分析（1）	32
	3	自己分析（2）	33
	4	自己分析（3）	34
	5	自己分析（4）	35
	6	自己PR作成（1）	36
	7	自己PR作成（2）	37
	8	自己PR作成（3）	38
	9	自己PR作成（4）	39
	10	効果測定 自己PR	40
	11	筆記試験とは	41
	12	一般常識対策（1）	42
	13	一般常識対策（2）	43
	14	適性試験対策（1）	44
	15	適性試験対策（2）	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
21		51	
22		52	
23		53	
24		54	
25		55	
26		56	
27		57	
28		58	
29		59	
30		60	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定で評価		
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ITキャリアデザインⅡ	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	就職活動および就職試験の対策	
授業の進め方	テキストによる講義と実技的な演習	
達成目標	面接時の自己PRおよび志望動機が十分に回答できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 面接試験とは 2 面接試験における質問研究（1） 3 面接試験における質問研究（2） 4 面接試験における質問研究（3） 5 説明会・選考試験とは 6 入退室方法の確認 7 面接力トレーニング（1） 8 面接力トレーニング（2） 9 応募書類の準備 10 履歴書作成（1） 11 履歴書作成（2） 12 履歴書作成（3） 13 仕事・会社選びの基礎知識 14 企業研究シート作成（1） 15 企業研究シート作成（2） 16 企業研究シート作成（3） 17 志望動機作成（1） 18 志望動機作成（2） 19 志望動機作成（3） 20 面接力トレーニング（3） 21 面接力トレーニング（4） 22 面接試験における質問研究（4） 23 面接試験における質問研究（5） 24 面接試験における質問研究（6） 25 面接力トレーニング（5） 26 面接力トレーニング（6） 27 エントリーシート作成（1） 28 エントリーシート作成（2） 29 エントリーシート作成（3） 30 作文演習（1）	31 作文演習（2） 32 インターネットによるアクセス 33 電子メールによるアクセス 34 電話によるアクセス 35 電話応対実践（1） 36 電話応対実践（2） 37 電話応対実践（3） 38 効果測定 電話応対 39 就職活動における自己管理 40 面接トレーニング（7） 41 面接トレーニング（8） 42 就職マニュアルの確認 43 就職システムの利用方法 44 面接トレーニング（9） 45 面接トレーニング（10） 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定で評価	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	一般教養 I		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	必修		
授業方法	演習		
授業時間	30時間（1単位）		
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）		
授業概要	一般常識や漢字など学習		
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う		
達成目標	模擬試験および検定試験で合格点を取る		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	一般常識対策（1）	31
	2	一般常識対策（2）	32
	3	一般常識対策（3）	33
	4	一般常識対策（4）	34
	5	一般常識対策（5）	35
	6	適性試験対策（1）	36
	7	適性試験対策（2）	37
	8	適性試験対策（3）	38
	9	適性試験対策（4）	39
	10	適性試験対策（5）	40
	11	漢字試験対策（1）	41
	12	漢字試験対策（2）	42
	13	漢字試験対策（3）	43
	14	漢字試験対策（4）	44
	15	効果測定 漢字	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価		
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	IT基礎知識 I	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	IT基礎知識の学習：テクノロジー系、マネジメント系、ストラテジ系	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	IT基礎全般において、基本的な理解を深める	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 第1章ハードウェア I 2 第2章基礎理論 3 問題演習 4 第2章基礎理論 5 第2章基礎理論 6 問題演習 7 第3章ハードウェア II 8 第3章ハードウェア II 9 問題演習 10 第3章ハードウェア II 11 第4章ソフトウェア 12 問題演習 13 第4章ソフトウェア 14 第4章ソフトウェア 15 問題演習 16 第4章ソフトウェア、第5章アルゴリズム 17 第5章アルゴリズム 18 問題演習 19 第5章アルゴリズム 20 第6章データベース 21 問題演習 22 第6章データベース 23 第6章データベース 24 問題演習 25 第7章ネットワーク 26 第7章ネットワーク 27 問題演習 28 第7章ネットワーク、第8章セキュリティ 29 第8章セキュリティ 30 問題演習	31 第8章セキュリティ、第9章システム構成要素 32 第9章システム構成要素 33 問題演習 34 第9章システム構成要素 35 第10章マルチメディア 36 問題演習 37 第11章システム開発 38 第11章システム開発 39 問題演習 40 第12章マネジメント 41 第12章マネジメント 42 問題演習 43 第13章ストラテジ 44 第13章ストラテジ 45 問題演習 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	IT基礎知識Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	IT基礎知識の学習：テクノロジー系、マネジメント系、ストラテジ系	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義	
達成目標	基本情報技術者試験の午前科目試験に合格できるレベルに達する	
教科書	答案練習問題	
特記		
授業計画	1 項目別問題演習 1 2 項目別問題演習 1 3 項目別問題演習 1 4 項目別問題演習 2 5 項目別問題演習 2 6 項目別問題演習 2 7 項目別問題演習 3 8 項目別問題演習 3 9 項目別問題演習 3 10 項目別問題演習 4 11 項目別問題演習 4 12 項目別問題演習 4 13 項目別問題演習 5 14 項目別問題演習 5 15 項目別問題演習 5 16 項目別問題演習 6 17 項目別問題演習 6 18 項目別問題演習 6 19 総合問題演習 1 20 総合問題演習 1 21 総合問題演習 1 22 総合問題演習 2 23 総合問題演習 2 24 総合問題演習 2 25 総合問題演習 3 26 総合問題演習 3 27 総合問題演習 3 28 総合問題演習 4 29 総合問題演習 4 30 総合問題演習 4	31 総合問題演習 5 32 総合問題演習 5 33 総合問題演習 5 34 総合問題演習 6 35 総合問題演習 6 36 総合問題演習 6 37 直前対策問題演習 1 38 直前対策問題演習 1 39 直前対策問題演習 1 40 直前対策問題演習 2 41 直前対策問題演習 2 42 直前対策問題演習 2 43 直前対策問題演習 3 44 直前対策問題演習 3 45 直前対策問題演習 3 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	IT基礎知識Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	IT基礎知識の学習：テクノロジー系、マネジメント系、ストラテジ系	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	基本情報技術者試験の午後科目試験の基礎問題に正答できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 アルゴリズム 1 2 アルゴリズム 1 3 問題演習 4 アルゴリズム 2 5 アルゴリズム 2 6 問題演習 7 アルゴリズム 3 8 アルゴリズム 3 9 問題演習 10 アルゴリズム 4 11 アルゴリズム 4 12 問題演習 13 CASL II 1 14 CASL II 1 15 問題演習 16 CASL II 2 17 CASL II 2 18 問題演習 19 CASL II 3 20 CASL II 3 21 問題演習 22 CASL II 4 23 CASL II 4 24 問題演習 25 CASL II 5 26 CASL II 5 27 問題演習 28 CASL II 6 29 CASL II 6 30 問題演習	31 知識の応用 1 32 知識の応用 1 33 問題演習 34 知識の応用 2 35 知識の応用 2 36 問題演習 37 知識の応用 3 38 知識の応用 3 39 問題演習 40 知識の応用 4 41 知識の応用 4 42 問題演習 43 知識の応用 5 44 知識の応用 5 45 問題演習 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	IT基礎知識IV	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	120時間（4単位）	
授業コマ数	60コマ（1コマ90分）	
授業概要	IT基礎知識の学習：テクノロジー系、マネジメント系、ストラテジ系	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義	
達成目標	基本情報技術者試験の午後科目試験に合格できるレベルに達する	
教科書	答案作成練習問題	
特記		
授業計画	1 項目別問題演習 1 2 項目別問題演習 1 3 項目別問題演習 1 4 項目別問題演習 2 5 項目別問題演習 2 6 項目別問題演習 2 7 項目別問題演習 3 8 項目別問題演習 3 9 項目別問題演習 3 10 復習・検証問題演習 11 復習・検証問題演習 12 復習・検証問題演習 13 項目別問題演習 4 14 項目別問題演習 4 15 項目別問題演習 4 16 項目別問題演習 5 17 項目別問題演習 5 18 項目別問題演習 5 19 項目別問題演習 6 20 項目別問題演習 6 21 項目別問題演習 6 22 項目別問題演習 7 23 項目別問題演習 7 24 項目別問題演習 7 25 項目別問題演習 8 26 項目別問題演習 8 27 項目別問題演習 8 28 復習・検証問題演習 29 復習・検証問題演習 30 復習・検証問題演習	31 項目別問題演習 9 32 項目別問題演習 9 33 項目別問題演習 9 34 項目別問題演習 10 35 項目別問題演習 10 36 項目別問題演習 10 37 項目別問題演習 11 38 項目別問題演習 11 39 項目別問題演習 11 40 復習・検証問題演習 41 復習・検証問題演習 42 復習・検証問題演習 43 過去問題演習 1 44 過去問題演習 1 45 過去問題演習 1 46 過去問題演習 2 47 過去問題演習 2 48 過去問題演習 2 49 過去問題演習 3 50 過去問題演習 3 51 過去問題演習 3 52 過去問題演習 4 53 過去問題演習 4 54 過去問題演習 4 55 過去問題演習 5 56 過去問題演習 5 57 過去問題演習 5 58 公開模擬試験 59 公開模擬試験 60 公開模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	コンピュータリテラシー		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択		
授業方法	実習		
授業時間	30時間（1単位）		
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）		
授業概要	Officeソフト：Word、Excel、PowerPointの操作学習		
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習		
達成目標	Officeソフトの基本的な操作方法を身につける		
教科書	情報利活用 基本演習		
特記			
授業計画	1	コンピューターの基本操作	31
	2	一般的なビジネス文書の作成	32
	3	シンプルなレポートや報告書の作成	33
	4	表、画像、図形を使った文書の作成	34
	5	効果測定 文書作成	35
	6	プレゼンテーションの企画	36
	7	わかりやすいストーリー構成	37
	8	センスアップするレイアウトデザイン	38
	9	イメージを伝えるイラスト・写真活用	39
	10	効果測定 プレゼンテーション	40
	11	表作成の基本操作	41
	12	見やすく使いやすい表にする編集操作	42
	13	数式・関数を活用した集計表の作成	43
	14	グラフの基本	44
	15	効果測定 表計算	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
21		51	
22		52	
23		53	
24		54	
25		55	
26		56	
27		57	
28		58	
29		59	
30		60	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価		
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	HTML／CSS		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択		
授業方法	実習		
授業時間	30時間（1単位）		
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）		
授業概要	HTML／CSS		
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習		
達成目標	HTML／CSSを使用してWebページの作成ができる		
教科書	いちばんやさしいHTML5&CSS3の教本（インプレス）		
特記			
授業計画	1	Webサイト作成準備	31
	2	HTMLの基本	32
	3	HTML文書的设计	33
	4	共通ページから個別ページの作成（1）	34
	5	共通ページから個別ページの作成（2）	35
	6	CSSの基本（1）	36
	7	CSSの基本（2）	37
	8	CSSで共通部分をデザインする（1）	38
	9	CSSで共通部分をデザインする（2）	39
	10	コンテンツのデザインを整える（1）	40
	11	コンテンツのデザインを整える（2）	41
	12	スマートフォンに対応させる（1）	42
	13	スマートフォンに対応させる（2）	43
	14	Webサイトを公開する・機能追加	44
	15	効果測定 HTML/CSS	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価		
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	JavaScript	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	60時間（2単位）	
授業コマ数	30コマ（1コマ90分）	
授業概要	JavaScript	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習	
達成目標	JavaScriptを使用した動的なWebページの作成ができる	
教科書	3ステップでしっかり学ぶJavaScript入門[改訂2版]（技術評論社）	
特記		
授業計画	1 JavaScriptの基礎知識 2 はじめてのプログラム（1） 3 はじめてのプログラム（2） 4 変数と演算について（1） 5 変数と演算について（2） 6 条件分岐（1） 7 条件分岐（2） 8 繰り返し（1） 9 繰り返し（2） 10 ユーザ定義関数の作成 11 オブジェクトの操作（1） 12 オブジェクトの操作（2） 13 オブジェクトの操作（3） 14 配列の基礎 15 配列の操作 16 効果測定 JavaScript(1) 17 Webブラウザのオブジェクト（1） 18 Webブラウザのオブジェクト（2） 19 Webブラウザのオブジェクト（3） 20 デジタル時計の作成 21 イメージを操作する 22 ユーザ定義オブジェクト 23 DOMの操作（1） 24 DOMの操作（2） 25 DOMの操作（3） 26 Ajax（1） 27 Ajax（2） 28 Ajax（3） 29 Ajax（4） 30 効果測定 JavaScript(2)	31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	データベース		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択		
授業方法	実習		
授業時間	30時間（1単位）		
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）		
授業概要	SQLの基本文法とリレーショナルデータベースの設計と実装		
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習		
達成目標	リレーショナルデータベースの設計とデータベースに対するSQLの実装ができる		
教科書	スッキリわかる SQL入門 第2版（インプレス）		
特記			
授業計画	1	初めてのSQL	31
	2	基本文法と4大命令	32
	3	操作する行の絞り込み(1)	33
	4	操作する行の絞り込み(2)	34
	5	検索結果の加工	35
	6	式と関数	36
	7	集計とグループ化	37
	8	副問い合わせ	38
	9	複数テーブルの問い合わせ	39
	10	トランザクション	40
	11	テーブルの作成	41
	12	さまざまな支援機能	42
	13	テーブルの設計(1)	43
	14	テーブルの設計(2)	44
	15	効果測定 データベース	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価		
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Python	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	Python3の基本文法とプログラムの実装	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習	
達成目標	CUIベースのプログラムをPythonで実装できる	
教科書	新・明解 Python入門（SBクリエイティブ）	
特記		
授業計画	1 Pythonをはじめる 2 画面への表示とキーボードからの入力 3 制御・条件分岐（1） 4 制御・条件分岐（2） 5 制御・条件分岐（3） 6 プログラムの構成要素 7 制御・繰り返し（1） 8 制御・繰り返し（2） 9 制御・繰り返し（3） 10 オブジェクトと型（1） 11 オブジェクトと型（2） 12 文字列の基礎 13 文字列の操作 14 文字列の書式化 15 効果測定 Python（1） 16 リスト（1） 17 リスト（2） 18 リスト（3） 19 リスト（4） 20 タプル 21 辞書 22 集合 23 関数の基礎（1） 24 関数の基礎（2） 25 文書化文字列とアノテーション 26 名前空間とスコープ 27 高階関数とラムダ式 28 モジュール 29 パッケージ 30 効果測定 Python（2）	31 クラス（1） 32 クラス（2） 33 クラス変数とクラスメソッド 34 継承（1） 35 継承（2） 36 例外処理（1） 37 例外処理（2） 38 ファイル処理の基礎（1） 39 ファイル処理の基礎（2） 40 バイナリファイル 41 総合演習（1） 42 総合演習（2） 43 総合演習（3） 44 総合演習（4） 45 効果測定 Python（3） 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	オブジェクト指向分析設計		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース		
履修年次	1年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	実習		
授業時間	60時間（2単位）		
授業コマ数	30コマ（1コマ90分）		
授業概要	ユースケース駆動設計によるオブジェクト指向分析・設計の実習		
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習		
達成目標	分析から設計・実装までのソフトウェアライフサイクルに対応できる		
教科書	システムの分析と設計 図解とUMLによるアプローチ（大学教育出版）		
特記			
授業計画	1	各種ツールの準備と・実習	31
	2	システム分析の本質	32
	3	図解技法の応用（例題と演習）	33
	4	演習（1）	34
	5	演習（2）	35
	6	システム分析・設計の手順	36
	7	UMLの基本（1）	37
	8	UMLの基本（2）	38
	9	システム分析の事例演習1-1	39
	10	システム分析の事例演習1-2	40
	11	システム分析の事例演習1-3	41
	12	システム分析の事例演習2-1	42
	13	システム分析の事例演習2-2	43
	14	システム分析の事例演習2-3	44
	15	効果測定 オブジェクト指向分析設計（1）	45
	16	システム分析の事例演習3-1	46
	17	システム分析の事例演習3-2	47
	18	システム分析の事例演習3-3	48
	19	UMLを用いたシステムの設計の基礎	49
	20	システム設計の事例演習1	50
	21	システム設計の事例演習2	51
	22	システム設計の事例演習3	52
	23	総合演習1	53
	24	総合演習2	54
	25	総合演習3	55
	26	総合演習4	56
	27	総合演習5	57
	28	総合演習6	58
	29	総合演習7	59
	30	効果測定 オブジェクト指向分析設計（2）	60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 応用的な知識を測定する試験で評価		
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	アジャイルソフトウェア開発		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース		
履修年次	1年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	実習		
授業時間	30時間（1単位）		
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）		
授業概要	アジャイルの概要とアジャイルを適用したユースケース駆動設計		
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習		
達成目標	アジャイルな開発体制に適応できる		
教科書	アジャイル開発への道案内（近代科学社）		
特記			
授業計画	1	アジャイル開発の現状と課題	31
	2	アジャイル開発の概要	32
	3	アジャイル開発の特徴	33
	4	アジャイル開発プロセス	34
	5	アジャイル開発の効果とリスク	35
	6	上流工程を組み込んだ拡張アジャイル開発	36
	7	アジャイル開発の事例	37
	8	まとめと演習	38
	9	事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計（1）	39
	10	事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計（2）	40
	11	事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計（3）	41
	12	事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計（4）	42
	13	事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計（5）	43
	14	事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計（6）	44
	15	効果測定 アジャイルソフトウェア開発	45
			46
		47	
		48	
		49	
		50	
		51	
		52	
		53	
		54	
		55	
		56	
		57	
		58	
		59	
		60	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価		
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Java	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	120時間（4単位）	
授業コマ数	60コマ（1コマ90分）	
授業概要	Javaの基本文法とオブジェクト指向プログラミング	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習	
達成目標	オブジェクト指向プログラミングをベースとした各種プログラムをJavaで実装できる	
教科書	新・明解Java入門（SBクリエイティブ）、Java8問題集（SCC Books）	
特記		
授業計画	1 はじめてのJava 2 変数を使う 3 制御構文・分岐（1） if文（1） 4 制御構文・分岐（2） if文（2） 5 制御構文・分岐（3） switch文 キーワード・識別子・演算子 6 制御構文・繰り返し（1） do-while文 7 制御構文・繰り返し（2） while文 8 制御構文・繰り返し（3） for文 9 制御構文・繰り返し（4） 10 基本型と演算 11 配列（1） 12 配列（2） 13 配列（3） 14 演習（1） 15 効果測定 Java（1） 16 メソッド（1） 17 メソッド（2） 18 メソッド（3） 19 クラスの基本（1） 20 クラスの基本（2） 21 日付クラスの作成（1） 22 日付クラスの作成（2） 23 クラス変数とクラスメソッド（1） 24 クラス変数とクラスメソッド（2） 25 クラス変数とクラスメソッド（3） 26 パッケージ 27 クラスの派生と多相姓（1） 28 クラスの派生と多相姓（1） 29 クラスの派生と多相姓（1） 30 効果測定 Java（2）	31 抽象クラス（1） 32 抽象クラス（2） 33 インタフェース（1） 34 インタフェース（1） 35 演習（2） 36 文字と文字列（1） 37 文字と文字列（2） 38 例外処理（1） 39 例外処理（2） 40 効果測定 Java（3） 41 総合演習 ようこそJavaの世界へ 42 総合演習 はじめてのJavaプログラム 43 総合演習 基本的なJavaプログラムの構造 44 総合演習 コンピュータで扱うデータ表現 45 総合演習 変数／定数と型 46 総合演習 演算と演算子 47 総合演習 配列の宣言・生成（1） 48 総合演習 配列の宣言・生成（2） 49 総合演習 制御文（1） 50 総合演習 制御文（2） 51 総合演習 クラスとオブジェクト（1） 52 総合演習 クラスとオブジェクト（2） 53 総合演習 クラスの関係を深める（1） 54 総合演習 クラスの関係を深める（2） 55 総合演習 クラスの継承（1） 56 総合演習 クラスの継承（2） 57 総合演習 例外処理（1） 58 総合演習 例外処理（2） 59 まとめ 60 効果測定 Java（4）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 応用的な知識を測定する試験で評価	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	PHP	
実務家教員	○	
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	PHP基本文法とサーバサイドアプリケーションの設計と実装	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習	
達成目標	サーバサイドアプリケーションをPHPで実装できる	
教科書	詳細！PHP 7 + MySQL 入門ノート（ソーテック社）	
特記	一般企業にてシステムエンジニアとして従事していた経験のある職員が、実務の経験に沿った内容をもとに授業を行う。	
授業計画	1 PHPの概要と準備 2 変数 3 演算子 4 制御構造・分岐文 5 制御構造・繰り返し文 6 関数（1） 7 関数（2） 8 文字列操作（1） 9 文字列操作（2） 10 文字列操作（3） 11 配列（1） 12 配列（2） 13 配列（3） 14 効果測定 PHP（1） 15 オブジェクト指向プログラミング（1） 16 オブジェクト指向プログラミング（2） 17 オブジェクト指向プログラミング（3） 18 オブジェクト指向プログラミング（4） 19 フォーム処理の基本（1） 20 フォーム処理の基本（2） 21 フォーム処理の基本（3） 22 各種フォームの使用（1） 23 各種フォームの使用（2） 24 各種フォームの使用（3） 25 各種フォームの使用（4） 26 セッションとクッキー（1） 27 セッションとクッキー（2） 28 セッションとクッキー（3） 29 効果測定 PHP（2） 30 ファイルの読み込みと書き出し（1）	31 ファイルの読み込みと書き出し（2） 32 ファイルの読み込みと書き出し（3） 33 phpMyAdminを使う（1） 34 phpMyAdminを使う（2） 35 MySQLを操作する（1） 36 MySQLを操作する（2） 37 MySQLを操作する（3） 38 MySQLを操作する（4） 39 総合演習（1） 40 総合演習（2） 41 総合演習（3） 42 総合演習（4） 43 総合演習（5） 44 総合演習（6） 45 効果測定 PHP（3）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	フロントエンドフレームワーク	
実務家教員	○	
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	Vue.jsの基本文法とシングルページアプリケーションの作成	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習	
達成目標	Vue.jsを使用してシングルページアプリケーションの作成ができる	
教科書	動かして学ぶ！Vue.js開発入門（翔泳社）	
特記	一般企業にてシステムエンジニアとして従事していた経験のある職員が、実務の経験に沿った内容をもとに授業を行う。	
授業計画	1 Vue.jsの概要 2 Vue.jsのインストール方法と実行 3 データを表示する 4 属性を指定する 5 演習（1） 6 ユーザの入力をつなぐ（1） 7 ユーザの入力をつなぐ（2） 8 ユーザの入力をつなぐ（3） 9 ユーザの入力をつなぐ（4） 10 演習（2） 11 ユーザの操作をつなぐ（1） 12 ユーザの操作をつなぐ（2） 13 ユーザの操作をつなぐ（3） 14 演習（3） 15 効果測定 フロントエンドフレームワーク（1） 16 条件と繰り返しを使う（1） 17 条件と繰り返しを使う（2） 18 条件と繰り返しを使う（3） 19 条件と繰り返しを使う（4） 20 演習（4） 21 Google Chartsと連動させる 22 データの変化を監視する（1） 23 データの変化を監視する（2） 24 演習（5） 25 データの変化を監視する（3） 26 データの変化を監視する（4） 27 演習（6） 28 Markdownエディタを作る 29 総合演習 30 効果測定 フロントエンドフレームワーク（2）	31 アニメーションを表示する（1） 32 アニメーションを表示する（2） 33 演習（7） 34 Vue.jsでToDoリストを作る（1） 35 Vue.jsでToDoリストを作る（2） 36 演習（8） 37 部品にまとめる：コンポーネント（1） 38 部品にまとめる：コンポーネント（2） 39 部品にまとめる：コンポーネント（3） 40 部品にまとめる：コンポーネント（4） 41 演習（9） 42 JSONデータを表示させる（1） 43 JSONデータを表示させる（2） 44 JSONデータを表示させる（3） 45 効果測定 フロントエンドフレームワーク（3）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	サーバサイドフレームワーク	
実務家教員	○	
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	PHPサーバサイドフレームワークLaravelを使用したサーバサイドアプリケーションの作成	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習	
達成目標	Laravelを使用してサーバサイドWebアプリケーションの作成ができる	
教科書	PHPフレームワーク Laravel入門（秀和システム）	
特記	一般企業にてシステムエンジニアとして従事していた経験のある職員が、実務の経験に沿った内容をもとに授業を行う。	
授業計画	1 Laravelを準備する 2 ルーティングとコントローラ（1） 3 ルーティングとコントローラ（2） 4 ルーティングとコントローラ（3） 5 演習（1） 6 ビューとテンプレート（1） 7 ビューとテンプレート（2） 8 ビューとテンプレート（3） 9 ビューとテンプレート（4） 10 演習（2） 11 リクエスト・レスポンスを補完する（1） 12 リクエスト・レスポンスを補完する（2） 13 リクエスト・レスポンスを補完する（3） 14 リクエスト・レスポンスを補完する（4） 15 リクエスト・レスポンスを補完する（5） 16 効果測定 サーバサイドフレームワーク（1） 17 データベースの利用（1） 18 データベースの利用（2） 19 データベースの利用（3） 20 データベースの利用（4） 21 演習（3） 22 Eloquent ORM（1） 23 Eloquent ORM（2） 24 Eloquent ORM（3） 25 Eloquent ORM（4） 26 Eloquent ORM（5） 27 演習（4） 28 Restfulサービス（1） 29 Restfulサービス（2） 30 Restfulサービス（3）	31 Restfulサービス（4） 32 Restfulサービス（5） 33 効果測定 サーバサイドフレームワーク（2） 34 サーバサイドアプリ構築演習（1） 35 サーバサイドアプリ構築演習（2） 36 サーバサイドアプリ構築演習（3） 37 サーバサイドアプリ構築演習（4） 38 サーバサイドアプリ構築演習（5） 39 サーバサイドアプリ構築演習（6） 40 サーバサイドアプリ構築演習（7） 41 サーバサイドアプリ構築演習（8） 42 サーバサイドアプリ構築演習（9） 43 サーバサイドアプリ構築演習（10） 44 サーバサイドアプリ構築演習（11） 45 効果測定 サーバサイドフレームワーク（3） 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	Word基礎		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース		
履修年次	1年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
授業時間	60時間（2単位）		
授業コマ数	30コマ（1コマ90分）		
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1	文章の作成①	31
	2	文章の作成②	32
	3	文章内の移動①	33
	4	文章内の移動②	34
	5	文章の書式設定①	35
	6	文章の書式設定②	36
	7	文章の書式設定③	37
	8	文章の書式設定④	38
	9	オプションの設定、表示のカスタマイズ①	39
	10	オプションの設定、表示のカスタマイズ②	40
	11	オプションの設定、表示のカスタマイズ③	41
	12	オプションの設定、表示のカスタマイズ④	42
	13	文章の印刷、保存①	43
	14	文章の印刷、保存②	44
	15	文章の印刷、保存③	45
	16	文章の印刷、保存④	46
	17	文字列・段落の挿入①	47
	18	文字列・段落の挿入②	48
	19	文字列・段落の挿入③	49
	20	文字列・段落の挿入④	50
	21	文字列・段落の書式設定①	51
	22	文字列・段落の書式設定②	52
	23	文字列・段落の書式設定③	53
	24	文字列・段落の書式設定④	54
	25	文字列・段落の書式設定⑤	55
	26	文字列・段落の並び替え、グループ化①	56
	27	文字列・段落の並び替え、グループ化②	57
	28	文字列・段落の並び替え、グループ化③	58
	29	文字列・段落の並び替え、グループ化④	59
	30	文字列・段落の並び替え、グループ化⑤	60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定		
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Excel基礎	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	60時間（2単位）	
授業コマ数	30コマ（1コマ90分）	
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用法を習得する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 ワークシートやブックの作成と管理① 2 ワークシートやブックの作成と管理② 3 セルやセル範囲のデータの管理① 4 セルやセル範囲のデータの管理② 5 テーブルの作成① 6 テーブルの作成② 7 テーブルの作成③ 8 関数を使用するデータの集計① 9 関数を使用するデータの集計② 10 関数を使用するデータの集計③ 11 関数を使用する条件付き計算④ 12 関数を使用する条件付き計算⑤ 13 関数を使用する条件付き計算⑥ 14 関数を使用した文字列の整形や変更① 15 関数を使用した文字列の整形や変更② 16 関数を使用した文字列の整形や変更③ 17 グラフの作成① 18 グラフの作成② 19 グラフの作成③ 20 グラフの書式設定① 21 グラフの書式設定② 22 グラフの書式設定③ 23 グラフの書式設定④ 24 グラフの書式設定⑤ 25 オブジェクトの挿入や書式設定① 26 オブジェクトの挿入や書式設定② 27 オブジェクトの挿入や書式設定③ 28 オブジェクトの挿入や書式設定④ 29 オブジェクトの挿入や書式設定⑤ 30 オブジェクトの挿入や書式設定⑥	31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	ビジネス文書		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース		
履修年次	1年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
授業時間	60時間（2単位）		
授業コマ数	30コマ（1コマ90分）		
授業概要	コンピュータ及び、Word・Excel・PowerPointの基礎操作の効果的な使用法を習得する		
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る		
達成目標	コンピュータの基本操作、及びWord・Excel・PowerPointの操作を習得する。		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1	コンピュータの基本操作	31
	2	文書作成と管理	32
	3	一般的なビジネス文書の作成	33
	4	シンプルなレポートや報告書の作成①	34
	5	シンプルなレポートや報告書の作成②	35
	6	シンプルなレポートや報告書の作成③	36
	7	表、画像、図形を使った文書の作成①	37
	8	表、画像、図形を使った文書の作成②	38
	9	表、画像、図形を使った文書の作成③	39
	10	プレゼンテーションの企画	40
	11	わかりやすいストーリー構成	41
	12	センスアップするレイアウトデザイン①	42
	13	センスアップするレイアウトデザイン②	43
	14	センスアップするレイアウトデザイン③	44
	15	イメージを伝えるイラスト・写真活用①	45
	16	イメージを伝えるイラスト・写真活用②	46
	17	イメージを伝えるイラスト・写真活用③	47
	18	表作成の基本操作①	48
	19	表作成の基本操作②	49
	20	表作成の基本操作③	50
	21	見やすく使いやすい表にする編集操作①	51
	22	見やすく使いやすい表にする編集操作②	52
	23	見やすく使いやすい表にする編集操作③	53
	24	数式・関数を活用した表計算の作成①	54
	25	数式・関数を活用した表計算の作成②	55
	26	数式・関数を活用した表計算の作成③	56
	27	数式・関数を活用した表計算の作成④	57
	28	グラフの基本①	58
	29	グラフの基本②	59
	30	グラフの基本③	60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定		
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	簿記入門 I		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	必修		
授業方法	講義		
授業時間	30時間（1単位）		
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）		
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原則を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	簿記の基本原則の理解する		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	簿記の目的（基礎編）	31
	2	簿記一巡（基礎編）	32
	3	商品売買 I（基礎編）	33
	4	商品売買 II（基礎編）	34
	5	決算整理（基礎編）	35
	6	精算表（基礎編）	36
	7	現金および預金（基礎編）	37
	8	手形（基礎編）	38
	9	有形固定資産の決算整理（基礎編）	39
	10	その他の債権および債務（基礎編）	40
	11	その他の勘定および訂正仕訳（基礎編）	41
	12	有形固定資産の決算整理（基礎編）	42
	13	費用および収益の決算整理（基礎編）	43
	14	株式会社の純資産（基礎編）	44
	15	英米式決算法（基礎編）	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級商業簿記基礎 I	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	60時間（2単位）	
授業コマ数	30コマ（1コマ90分）	
授業概要	基本的な財務報告書類の作成方法・株式会社会計の基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	決算整理を中心とした会計処理、勘定形式の報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 簿記一巡の手続きと財務諸表（基礎編） 2 現金預金（基礎編） 3 債権・債務（基礎編） 4 棚卸資産（基礎編） 5 有価証券①（基礎編） 6 有価証券②（基礎編） 7 固定資産①（基礎編） 8 固定資産②（基礎編） 9 固定資産③（基礎編） 10 固定資産④（基礎編） 11 債務保証（基礎編） 12 引当金（基礎編） 13 収益と費用（基礎編） 14 為替換算会計（基礎編） 15 株式会社の純資産（基礎編） 16 企業結合（基礎編） 17 確認テスト（第1回） 18 税金①（基礎編） 19 税金②（基礎編） 20 伝票と帳簿（基礎編） 21 決算①（基礎編） 22 決算②（基礎編） 23 本支店会計①（基礎編） 24 本支店会計②（基礎編） 25 連結会計①（基礎編） 26 連結会計②（基礎編） 27 連結会計③（基礎編） 28 連結会計④（基礎編） 29 連結会計⑤（基礎編） 30 確認テスト（第2回）	31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																																																																																											
授業科目	2級工業簿記基礎 I																																																																																											
実務家教員																																																																																												
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース																																																																																											
履修年次	1年次																																																																																											
開講学期	前期																																																																																											
科目区分	選択																																																																																											
授業方法	講義																																																																																											
授業時間	60時間（2単位）																																																																																											
授業コマ数	30コマ（1コマ90分）																																																																																											
授業概要	工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ																																																																																											
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る																																																																																											
達成目標	伝統的な個別原価計算および総合原価計算を学び、一部、原価計算の基礎についても習熟することを目的とする																																																																																											
教科書	オリジナルテキスト																																																																																											
特記																																																																																												
授業計画	<table border="1"> <tbody> <tr><td>1</td><td>工業簿記の基礎（基礎編）</td><td>31</td></tr> <tr><td>2</td><td>個別原価計算における工業簿記の記帳体系（基礎編）</td><td>32</td></tr> <tr><td>3</td><td>材料費会計（基礎編）</td><td>33</td></tr> <tr><td>4</td><td>労務費会計（基礎編）</td><td>34</td></tr> <tr><td>5</td><td>経費会計（基礎編）</td><td>35</td></tr> <tr><td>6</td><td>製造間接費会計（基礎編）</td><td>36</td></tr> <tr><td>7</td><td>製造間接費差異の原因別分析（基礎編）</td><td>37</td></tr> <tr><td>8</td><td>単純個別原価計算（基礎編）</td><td>38</td></tr> <tr><td>9</td><td>工企業の財務諸表（基礎編）</td><td>39</td></tr> <tr><td>10</td><td>確認テスト（第1回）</td><td>40</td></tr> <tr><td>11</td><td>部門別計算①（基礎編）</td><td>41</td></tr> <tr><td>12</td><td>部門別計算②（基礎編）</td><td>42</td></tr> <tr><td>13</td><td>総合原価計算における工業簿記の記帳体系（基礎編）</td><td>43</td></tr> <tr><td>14</td><td>単純総合原価計算（基礎編）</td><td>44</td></tr> <tr><td>15</td><td>工程別総合原価計算（基礎編）</td><td>45</td></tr> <tr><td>16</td><td>組別総合原価計算（基礎編）</td><td>46</td></tr> <tr><td>17</td><td>等級別総合原価計算（基礎編）</td><td>47</td></tr> <tr><td>18</td><td>減損および仕損（基礎編）</td><td>48</td></tr> <tr><td>19</td><td>標準原価計算①（基礎編）</td><td>49</td></tr> <tr><td>20</td><td>標準原価計算②（基礎編）</td><td>50</td></tr> <tr><td>21</td><td>標準原価計算③（基礎編）</td><td>51</td></tr> <tr><td>22</td><td>CVP分析①（基礎編）</td><td>52</td></tr> <tr><td>23</td><td>CVP分析②（基礎編）</td><td>53</td></tr> <tr><td>24</td><td>直接原価計算（基礎編）</td><td>54</td></tr> <tr><td>25</td><td>工業簿記総まとめ①（基礎編）</td><td>55</td></tr> <tr><td>26</td><td>工業簿記総まとめ②（基礎編）</td><td>56</td></tr> <tr><td>27</td><td>工業簿記総まとめ③（基礎編）</td><td>57</td></tr> <tr><td>28</td><td>工業簿記総まとめ④（基礎編）</td><td>58</td></tr> <tr><td>29</td><td>工業簿記総まとめ⑤（基礎編）</td><td>59</td></tr> <tr><td>30</td><td>確認テスト（第2回）</td><td>60</td></tr> </tbody> </table>	1	工業簿記の基礎（基礎編）	31	2	個別原価計算における工業簿記の記帳体系（基礎編）	32	3	材料費会計（基礎編）	33	4	労務費会計（基礎編）	34	5	経費会計（基礎編）	35	6	製造間接費会計（基礎編）	36	7	製造間接費差異の原因別分析（基礎編）	37	8	単純個別原価計算（基礎編）	38	9	工企業の財務諸表（基礎編）	39	10	確認テスト（第1回）	40	11	部門別計算①（基礎編）	41	12	部門別計算②（基礎編）	42	13	総合原価計算における工業簿記の記帳体系（基礎編）	43	14	単純総合原価計算（基礎編）	44	15	工程別総合原価計算（基礎編）	45	16	組別総合原価計算（基礎編）	46	17	等級別総合原価計算（基礎編）	47	18	減損および仕損（基礎編）	48	19	標準原価計算①（基礎編）	49	20	標準原価計算②（基礎編）	50	21	標準原価計算③（基礎編）	51	22	CVP分析①（基礎編）	52	23	CVP分析②（基礎編）	53	24	直接原価計算（基礎編）	54	25	工業簿記総まとめ①（基礎編）	55	26	工業簿記総まとめ②（基礎編）	56	27	工業簿記総まとめ③（基礎編）	57	28	工業簿記総まとめ④（基礎編）	58	29	工業簿記総まとめ⑤（基礎編）	59	30	確認テスト（第2回）	60	
1	工業簿記の基礎（基礎編）	31																																																																																										
2	個別原価計算における工業簿記の記帳体系（基礎編）	32																																																																																										
3	材料費会計（基礎編）	33																																																																																										
4	労務費会計（基礎編）	34																																																																																										
5	経費会計（基礎編）	35																																																																																										
6	製造間接費会計（基礎編）	36																																																																																										
7	製造間接費差異の原因別分析（基礎編）	37																																																																																										
8	単純個別原価計算（基礎編）	38																																																																																										
9	工企業の財務諸表（基礎編）	39																																																																																										
10	確認テスト（第1回）	40																																																																																										
11	部門別計算①（基礎編）	41																																																																																										
12	部門別計算②（基礎編）	42																																																																																										
13	総合原価計算における工業簿記の記帳体系（基礎編）	43																																																																																										
14	単純総合原価計算（基礎編）	44																																																																																										
15	工程別総合原価計算（基礎編）	45																																																																																										
16	組別総合原価計算（基礎編）	46																																																																																										
17	等級別総合原価計算（基礎編）	47																																																																																										
18	減損および仕損（基礎編）	48																																																																																										
19	標準原価計算①（基礎編）	49																																																																																										
20	標準原価計算②（基礎編）	50																																																																																										
21	標準原価計算③（基礎編）	51																																																																																										
22	CVP分析①（基礎編）	52																																																																																										
23	CVP分析②（基礎編）	53																																																																																										
24	直接原価計算（基礎編）	54																																																																																										
25	工業簿記総まとめ①（基礎編）	55																																																																																										
26	工業簿記総まとめ②（基礎編）	56																																																																																										
27	工業簿記総まとめ③（基礎編）	57																																																																																										
28	工業簿記総まとめ④（基礎編）	58																																																																																										
29	工業簿記総まとめ⑤（基礎編）	59																																																																																										
30	確認テスト（第2回）	60																																																																																										
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト																																																																																											
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。																																																																																											

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級簿記総合 I	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学び、 本支店会計、連結会計、原価計算の基礎も学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記2級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 商業簿記総まとめ①（基礎編） 2 商業簿記総まとめ②（基礎編） 3 商業簿記総まとめ③（基礎編） 4 商業簿記総まとめ④（基礎編） 5 商業簿記総まとめ⑤（基礎編） 6 商業簿記総まとめ⑥（基礎編） 7 商業簿記総まとめ⑦（基礎編） 8 商業簿記総まとめ⑧（基礎編） 9 商業簿記総まとめ⑨（基礎編） 10 商業簿記総まとめ⑩（基礎編） 11 商業簿記総まとめ⑪（基礎編） 12 商業簿記総まとめ⑫（基礎編） 13 工業簿記・原価計算総まとめ①（基礎編） 14 工業簿記・原価計算総まとめ②（基礎編） 15 工業簿記・原価計算総まとめ③（基礎編） 16 工業簿記・原価計算総まとめ④（基礎編） 17 工業簿記・原価計算総まとめ⑤（基礎編） 18 工業簿記・原価計算総まとめ⑥（基礎編） 19 総合問題対策①（商業簿記と工業簿記_基礎編） 20 総合問題対策②（商業簿記と工業簿記_基礎編） 21 総合問題対策③（商業簿記と工業簿記_基礎編） 22 総合問題対策④（商業簿記と工業簿記_基礎編） 23 総合問題対策⑤（商業簿記と工業簿記_基礎編） 24 総合問題対策⑥（商業簿記と工業簿記_基礎編） 25 総合問題対策⑦（商業簿記と工業簿記_基礎編） 26 総合問題対策⑧（商業簿記と工業簿記_基礎編） 27 総合問題対策⑨（商業簿記と工業簿記_基礎編） 28 総合問題演習①（テスト形式_基礎編） 29 総合問題演習①（テスト形式_基礎編） 30 総合問題演習①（テスト形式_基礎編）	31 総合問題演習②（テスト形式_基礎編） 32 総合問題演習②（テスト形式_基礎編） 33 総合問題演習②（テスト形式_基礎編） 34 総合問題演習③（テスト形式_基礎編） 35 総合問題演習③（テスト形式_基礎編） 36 総合問題演習③（テスト形式_基礎編） 37 総合問題演習④（テスト形式_基礎編） 38 総合問題演習④（テスト形式_基礎編） 39 総合問題演習④（テスト形式_基礎編） 40 総合問題演習⑤（テスト形式_基礎編） 41 総合問題演習⑤（テスト形式_基礎編） 42 総合問題演習⑥（テスト形式_基礎編） 43 総合問題演習⑥（テスト形式_基礎編） 44 総合問題演習⑦（テスト形式_基礎編） 45 総合問題演習⑦（テスト形式_基礎編） 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、 60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	3級商業簿記基礎	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原則、簿記の基本原則を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	株式会社を前提とした一般的な企業取引に対する会計処理、企業取引に対する会計処理、報告書類の理解を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 簿記の目的 2 簿記一巡 3 株式会社の資本①（意義、資本、発行） 4 株式会社の資本②（剰余金の配当） 5 商品売買①（商品売買、3分法、売掛金・買掛金） 6 商品売買②（返品、分記法） 7 商品売買③（仕入諸掛・販売諸掛、前受金・前払金、受取商品券） 8 決算①（決算） 9 決算②（決算整理） 10 決算③（繰越商品および仕入の決算整理） 11 決算④（決算整理後残高試算表） 12 決算⑤（精算表） 13 現金および預金①（現金、普通預金、当座預金） 14 現金および預金②（複数口座の管理、当座借越） 15 手形および電子記録債権・債務 16 受取手形および売掛金の決算整理 17 有形固定資産 18 現金過不足および現金、貯蔵品の決算整理 19 その他の債権および債務①（債権・債務、未収入金・未払金） 20 その他の債権および債務②（クレジット売掛金、手形貸付金・借入金） 21 その他の債権および債務③（仮払金・仮受金、差入保証金） 22 その他の勘定および訂正仕訳 23 その他の収益および費用 24 費用および収益の決算整理 25 税金 26 消費税および法人税等の決算整理 27 訂正仕訳 28 財務諸表の作成①（損益計算書①） 29 財務諸表の作成②（損益計算書②） 30 財務諸表の作成③（貸借対照表①）	31 財務諸表の作成④（貸借対照表②） 32 主要簿と補助簿 33 現金出納帳および当座預金出納帳 34 小口現金出納帳 35 仕入帳と売上帳 36 売掛金元帳と買掛金元帳 37 商品有高帳 38 手形記入帳 39 固定資産台帳 40 試算表の作成 41 伝票会計① 42 伝票会計② 43 確認テスト（第1回） 44 確認テスト（第2回） 45 確認テスト（第3回）
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	3級簿記総合	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	120時間（4単位）	
授業コマ数	60コマ（1コマ90分）	
授業概要	基礎レベルではやや難しい会計処理を問題演習を通じて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記3級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 商業簿記総まとめ①（基礎編） 2 商業簿記総まとめ②（基礎編） 3 商業簿記総まとめ③（基礎編） 4 商業簿記総まとめ④（基礎編） 5 商業簿記総まとめ⑤（基礎編） 6 商業簿記総まとめ⑥（基礎編） 7 商業簿記総まとめ⑦（基礎編） 8 商業簿記総まとめ⑧（基礎編） 9 商業簿記総まとめ⑨（基礎編） 10 商業簿記総まとめ⑩（基礎編） 11 商業簿記総まとめ⑪（基礎編） 12 商業簿記総まとめ⑫（基礎編） 13 商業簿記総まとめ⑬（基礎編） 14 商業簿記総まとめ⑭（基礎編） 15 商業簿記総まとめ⑮（基礎編） 16 商業簿記総まとめ①（応用編） 17 商業簿記総まとめ②（応用編） 18 商業簿記総まとめ③（応用編） 19 商業簿記総まとめ④（応用編） 20 商業簿記総まとめ⑤（応用編） 21 商業簿記総まとめ⑥（応用編） 22 商業簿記総まとめ⑦（応用編） 23 商業簿記総まとめ⑧（応用編） 24 商業簿記総まとめ⑨（応用編） 25 商業簿記総まとめ⑩（応用編） 26 商業簿記総まとめ⑪（応用編） 27 商業簿記総まとめ⑫（応用編） 28 商業簿記総まとめ⑬（応用編） 29 商業簿記総まとめ⑭（応用編） 30 商業簿記総まとめ⑮（応用編）	31 総合問題対策① 32 総合問題対策② 33 総合問題対策③ 34 総合問題対策④ 35 総合問題対策⑤ 36 総合問題対策⑥ 37 総合問題対策⑦ 38 総合問題対策⑧ 39 総合問題対策⑨ 40 総合問題対策⑩ 41 総合問題対策⑪ 42 総合問題対策⑫ 43 総合問題対策⑬ 44 総合問題対策⑭ 45 総合問題対策⑮ 46 総合問題演習① 47 総合問題演習② 48 総合問題演習③ 49 総合問題演習④ 50 総合問題演習⑤ 51 総合問題演習⑥ 52 総合問題演習⑦ 53 総合問題演習⑧ 54 総合問題演習⑨ 55 総合問題演習⑩ 56 総合問題演習⑪ 57 総合問題演習⑫ 58 総合問題演習⑬ 59 総合問題演習⑭ 60 総合問題演習⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級会計学入門 I	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	資産負債中心観を主体とした理論体系を学び現行基準との整合性、課題を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	現行基準の理論体系の理解を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 財務諸表（入門編） 2 有価証券（入門編） 3 デリバティブ取引・ヘッジ会計（入門編） 4 有形固定資産（入門編） 5 割引現在価値（入門編） 6 リース取引①（入門編） 7 リース取引②（入門編） 8 固定資産の減損（入門編） 9 研究開発費とソフトウェア（入門編） 10 繰延資産（入門編） 11 社債（入門編） 12 引当金①（入門編） 13 引当金②（入門編） 14 退職給付①（入門編） 15 退職給付②（入門編） 16 資産除去債務（入門編） 17 純資産（入門編） 18 新株予約権と新株予約権付社債（入門編） 19 ストック・オプション（入門編） 20 税効果会計①（入門編） 21 税効果会計②（入門編） 22 外貨建取引①（入門編） 23 外貨建取引②（入門編） 24 商品売買等①（入門編） 25 商品売買等②（入門編） 26 商品売買等③（入門編） 27 工事契約（入門編） 28 本支店会計①（入門編） 29 本支店会計②（入門編） 30 連結財務諸表総論（入門編）	31 資本連結（入門編） 32 成果連結（入門編） 33 持分法（入門編） 34 連結税効果会計（入門編） 35 包括利益（入門編） 36 在外子会社（入門編） 37 企業結合（入門編） 38 事業分離①（入門編） 39 事業分離②（入門編） 40 キャッシュフロー計算書①（入門編） 41 キャッシュフロー計算書②（入門編） 42 キャッシュフロー計算書③（入門編） 43 連結キャッシュフロー計算書①（入門編） 44 連結キャッシュフロー計算書②（入門編） 45 連結キャッシュフロー計算書③（入門編） 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級原価計算入門 I	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基本的な内容を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	工企業を前提とする会計処理の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 工業簿記と原価計算（入門編） 2 費目別計算①（入門編） 3 費目別計算②（入門編） 4 部門別計算①（入門編） 5 部門別計算②（入門編） 6 部門別計算③（入門編） 7 個別原価計算①（入門編） 8 個別原価計算②（入門編） 9 個別原価計算③（入門編） 10 総合原価計算①（入門編） 11 総合原価計算②（入門編） 12 総合原価計算③（入門編） 13 総合原価計算④（入門編） 14 標準原価計算①（入門編） 15 標準原価計算②（入門編） 16 標準原価計算③（入門編） 17 標準原価計算④（入門編） 18 標準原価計算⑤（入門編） 19 標準原価計算⑥（入門編） 20 直接原価計算（入門編） 21 短期利益計画①（入門編） 22 短期利益計画②（入門編） 23 予算管理①（入門編） 24 予算管理②（入門編） 25 予算管理③（入門編） 26 意思決定会計①（入門編） 27 意思決定会計②（入門編） 28 意思決定会計③（入門編） 29 意思決定会計④（入門編） 30 意思決定会計⑤（入門編）	31 意思決定会計⑥（入門編） 32 意思決定会計⑦（入門編） 33 意思決定会計⑧（入門編） 34 工業簿記と原価計算まとめ①（入門編） 35 工業簿記と原価計算まとめ②（入門編） 36 工業簿記と原価計算まとめ③（入門編） 37 工業簿記と原価計算まとめ④（入門編） 38 工業簿記と原価計算まとめ⑤（入門編） 39 工業簿記と原価計算まとめ⑥（入門編） 40 工業簿記と原価計算まとめ⑦（入門編） 41 工業簿記と原価計算まとめ⑧（入門編） 42 工業簿記と原価計算まとめ⑨（入門編） 43 工業簿記と原価計算まとめ⑩（入門編） 44 工業簿記と原価計算まとめ⑪（入門編） 45 工業簿記と原価計算まとめ⑫（入門編） 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級会計学基礎 I	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計の基礎について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会計知識の習得および計算技術を身に付けることを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 有価証券（基礎編） 2 有形固定資産（基礎編） 3 リース取引（基礎編） 4 固定資産の減損（基礎編） 5 退職給付（基礎編） 6 純資産（基礎編） 7 新株予約権と新株予約権付社債（基礎編） 8 スtock・オプション（基礎編） 9 税効果会計（基礎編） 10 外貨建取引（基礎編） 11 商品売買等（基礎編） 12 資本連結（基礎編） 13 連結税効果会計（基礎編） 14 在外子会社、事業分離（基礎編） 15 キャッシュフロー計算書、連結キャッシュフロー計算書（基礎編） 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級原価計算基礎 I	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基礎および経営戦略の基本的な内容を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	最新の原価管理理論の基礎の習得および計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 個別原価計算（基礎編） 2 部門別計算（基礎編） 3 総合原価計算（基礎編） 4 標準原価計算（基礎編） 5 直接原価計算（基礎編） 6 短期利益計画（基礎編） 7 予算管理（基礎編） 8 事業部制（基礎編） 9 業務的意思決定①（基礎編） 10 業務的意思決定②（基礎編） 11 構造的意意思決定①（基礎編） 12 構造的意意思決定②（基礎編） 13 構造的意意思決定③（基礎編） 14 戦略的原価計算①（基礎編） 15 戦略的原価計算②（基礎編） 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級会計学総合 I	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計について、より詳細に学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記1級検定合格程度の会計知識および計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 現金預金、債権の譲渡、デリバティブ取引、有価証券、リース取引 2 貸倒引当金、ヘッジ会計、減損会計、社債、退職給付会計 3 資産除去債務、セール・アンド・リースバック取引、ストック・オプション 4 自己株式、為替予約、外貨建有価証券、圧縮記帳 5 売価還元原価法、転換社債 6 電子記録債権、特別目的会社、剰余金の配当、固定資産 7 連結会計 8 キャッシュフロー計算書、企業結合 9 返品調整引当金、外貨建有価証券（減損）、ヘッジ会計 10 本支店会計総合問題（在外支店） 11 本支店会計総合問題（決算整理後合併残高試算表） 12 決算整理後残高試算表作成（会計上の変更） 13 決算整理後残高試算表作成（委託販売） 14 損益計算書作成（各種財務諸表金額算定） 15 損益計算書作成（財務諸表の注記に関する金額算定） 16 連結損益計算書 17 連結貸借対照表 18 会計上の変更 19 包括利益 20 理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題① 21 理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題② 22 理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題③ 23 理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題④ 24 理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題⑤ 25 理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題⑥ 26 総合問題対策①（テスト形式の問題解説_基礎編） 27 総合問題対策①（テスト形式の問題解説_基礎編） 28 総合問題対策②（テスト形式の問題解説_基礎編） 29 総合問題対策②（テスト形式の問題解説_基礎編） 30 総合問題対策③（テスト形式の問題解説_基礎編）	31 総合問題対策③（テスト形式の問題解説_基礎編） 32 総合問題演習①（テスト形式_基礎編） 33 総合問題演習①（テスト形式_基礎編） 34 総合問題演習②（テスト形式_基礎編） 35 総合問題演習②（テスト形式_基礎編） 36 総合問題演習③（テスト形式_基礎編） 37 総合問題演習③（テスト形式_基礎編） 38 総合問題演習④（テスト形式_基礎編） 39 総合問題演習④（テスト形式_基礎編） 40 総合問題演習⑤（テスト形式_基礎編） 41 総合問題演習⑤（テスト形式_基礎編） 42 総合問題演習⑥（テスト形式_基礎編） 43 総合問題演習⑥（テスト形式_基礎編） 44 総合問題演習⑦（テスト形式_基礎編） 45 総合問題演習⑦（テスト形式_基礎編） 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級原価計算総合 I	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	原価計算基準の理論体系、多様化する製造過程に対する会計処理、経営戦略について、より詳細に学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記1級検定合格程度の原価計算知識および計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 実際単純個別原価計算 2 部門別計算 3 部門別個別原価計算 4 実際工程別総合原価計算① 5 実際工程別総合原価計算② 6 連産品原価の計算および追加加工の意思決定 7 標準総合原価計算（仕損費の処理） 8 標準総合原価計算（配合差異・歩留差異） 9 標準総合原価計算（原価差異の追加配賦） 10 標準個別原価計算 11 実際直接工程別総合原価計算 12 実際直接部門別個別原価計算 13 CVP分析 14 直接標準総合原価計算（総合予算編成 四半期現金収支） 15 直接標準総合原価計算（総合予算編成 資金調達） 16 予算統制（予算財務諸表作成） 17 直接標準原価計算（営業利益の差異分析） 18 事業部の業績測定 19 業務的意思決定（原価分解、最適セールスマックス、新規注文の引受可否） 20 業務的意思決定（部品の自製か購入か、優劣分岐点分析、経済的発注量） 21 構造的意意思決定（各種評価方法、取換投資、拡張投資） 22 構造的意意思決定（差額キャッシュフローの計算） 23 戦略的原価計算（損益・優劣分岐点、無限反復投資） 24 戦略的原価計算（原価企画・原価維持・原価改善、品質原価計算） 25 戦略的原価計算（ライフサイクルコストニング、活動基準原価計算） 26 総合問題対策①（テスト形式の問題解説_基礎編） 27 総合問題対策①（テスト形式の問題解説_基礎編） 28 総合問題対策②（テスト形式の問題解説_基礎編） 29 総合問題対策②（テスト形式の問題解説_基礎編） 30 総合問題対策③（テスト形式の問題解説_基礎編）	31 総合問題対策③（テスト形式の問題解説_基礎編） 32 総合問題演習①（テスト形式_基礎編） 33 総合問題演習①（テスト形式_基礎編） 34 総合問題演習②（テスト形式_基礎編） 35 総合問題演習②（テスト形式_基礎編） 36 総合問題演習③（テスト形式_基礎編） 37 総合問題演習③（テスト形式_基礎編） 38 総合問題演習④（テスト形式_基礎編） 39 総合問題演習④（テスト形式_基礎編） 40 総合問題演習⑤（テスト形式_基礎編） 41 総合問題演習⑤（テスト形式_基礎編） 42 総合問題演習⑥（テスト形式_基礎編） 43 総合問題演習⑥（テスト形式_基礎編） 44 総合問題演習⑦（テスト形式_基礎編） 45 総合問題演習⑦（テスト形式_基礎編） 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級商業簿記基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	試算表、精算表、財務報告書など他の会計書類の関連性について体系的に学び、財務報告書類の作成方法・株式会社会計を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	商企業を前提とした、伝票会計、帳簿組織などの記帳技術を習得しつつ、報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 総論 2 簿記一巡の手続、財務諸表 3 現金預金、銀行勘定調整表 4 債権・債務 5 棚卸資産 6 有価証券①（有価証券の分類） 7 有価証券②（売買目的有価証券、満期保有目的債券） 8 有価証券③（子会社株式、関連会社株式） 9 有価証券④（その他有価証券、端数利息） 10 固定資産①（有形固定資産の取得、減価償却の方法、建設仮勘定） 11 固定資産②（有形固定資産の割賦購入、修繕費および改良費） 12 固定資産③（法人税法上の減価償却、圧縮記帳） 13 固定資産④（有形固定資産の売却、買換え、除却、滅失） 14 固定資産⑤（リース会計、無形固定資産） 15 固定資産⑥（ソフトウェア、投資その他資産） 16 債務保証 17 引当金①（貸倒引当金） 18 引当金②（貸倒引当金発生時の会計処理） 19 引当金③（その他の引当金） 20 収益と費用 21 為替換算会計①（外貨建取引） 22 為替換算会計②（為替予約） 23 株式会社の純資産①（意義、純資産） 24 株式会社の純資産②（株式の発行、剰余金の配当等） 25 株式会社の純資産③（株主資本の係数の変動） 26 企業結合 27 税金①（消費税） 28 税金②（法人税等） 29 税金③（税効果会計） 30 帳簿組織	31 伝票会計 32 決算①（決算整理、帳簿決算手続き） 33 決算②（財務諸表、精算表） 34 製造業を営む会社の決算処理 35 本支店会計①（意義、目的、本支店間取引、支店相互間取引） 36 本支店会計②（決算） 37 連結会計①（財務諸表） 38 連結会計②（支配獲得日の連結手続き） 39 連結会計③（支配獲得後の連結手続き） 40 連結会計④（連結会社相互間取引の相殺消去） 41 連結会計⑤（未実現利益の控除） 42 連結会計⑥（連結株主資本等変動計算書） 43 連結会計⑦（連結第1年度、連結第2年度） 44 確認テスト（第1回） 45 確認テスト（第2回） 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級工業簿記基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 工業簿記の基礎 2 工業簿記の記帳体系①（個別原価計算） 3 工業簿記の記帳体系②（決算） 4 材料費会計①（材料の購入、返品、消費、棚卸減耗） 5 材料費会計②（予定消費価格による材料費の計算と記帳） 6 労務費会計①（支払額の計算と記帳） 7 労務費会計②（消費額の計算と記帳） 8 労務費会計③（予定消費賃率による消費額の計算と記帳） 9 経費会計 10 製造間接費会計①（実際配賦と予定配賦） 11 製造間接費会計②（差異の原因別分析） 12 単純個別原価計算①（単純個別原価計算） 13 単純個別原価計算②（仕損の処理） 14 部門別計算①（部門別計算の手続きと記帳体系） 15 部門別計算②（部門個別費と部門共通費） 16 部門別計算③（補助部門費の配賦①） 17 部門別計算④（補助部門費の配賦②） 18 部門別計算⑤（仕掛品の計算） 19 部門別計算⑥（差異の原因別分析） 20 工企業の財務諸表①（製造原価報告書） 21 工企業の財務諸表②（損益計算書、貸借対照表） 22 工業簿記の記帳体系（総合原価計算） 23 総合原価計算①（単純総合原価計算） 24 総合原価計算②（月末仕掛品原価の評価） 25 総合原価計算③（材料の投入形態） 26 総合原価計算④（損益計算書の作成） 27 総合原価計算⑤（減損の処理） 28 総合原価計算⑥（仕損の処理） 29 工程別総合原価計算①（月末仕掛品原価の計算） 30 工程別総合原価計算②（半製品の処理）	31 組別総合原価計算 32 等級別総合原価計算①（完成品総合原価に等価係数を用いる方法） 33 等級別総合原価計算②（当月製造費用に等価係数を用いる方法） 34 標準原価計算①（月末仕掛品および完成品原価の計算） 35 標準原価計算②（原価差異の計算） 36 標準原価計算③（仕掛品勘定の記帳方法） 37 標準原価計算④（直接材料費差異および直接労務費差異の原因別分析） 38 標準原価計算⑤（製造間接費差異の原因別分析①） 39 標準原価計算⑥（製造間接費差異の原因別分析②） 40 原価・営業量・利益関係の分析 41 直接原価計算①（直接原価計算） 42 直接原価計算②（固定費調整） 43 工場会計の独立 44 確認テスト（第1回） 45 確認テスト（第2回） 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級商業簿記応用 I	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	商企業の会計処理に関する全体の関連性について体系的に学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	日々の取引、決算整理に関する一連の流れおよび財務諸表の作成について、上場企業レベルの資料を作成することができることを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 現金預金 2 債権・債務、棚卸資産 3 有価証券 4 固定資産①（応用編①） 5 固定資産②（応用編②） 6 固定資産③（応用編③） 7 債務保証、引当金 8 収益と費用、為替換算会計 9 株式会社の純資産 10 企業結合、税金 11 決算 12 本支店会計 13 連結会計①（応用編①） 14 連結会計②（応用編②） 15 確認テスト 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級工業簿記応用 I	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 工業簿記の記帳体系 2 材料費会計 3 労務費会計 4 経費会計、製造間接費会計 5 単純個別原価計算 6 部門別計算①（応用編①） 7 部門別計算②（応用編②） 8 工企業の財務諸表、総合原価計算 9 工程別総合原価計算 10 組別総合原価計算、等級別総合原価計算 11 標準原価計算①（応用編①） 12 標準原価計算②（応用編②） 13 原価・営業量・利益関係の分析 14 直接原価計算 15 確認テスト 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級簿記総合Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学習し、総合問題の基礎も学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記2級の基礎的な会計知識と計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 商業簿記総まとめ①（中級編） 2 商業簿記総まとめ②（中級編） 3 商業簿記総まとめ③（中級編） 4 商業簿記総まとめ④（中級編） 5 商業簿記総まとめ⑤（中級編） 6 商業簿記総まとめ⑥（中級編） 7 商業簿記総まとめ⑦（中級編） 8 商業簿記総まとめ⑧（中級編） 9 商業簿記総まとめ⑨（中級編） 10 商業簿記総まとめ⑩（中級編） 11 商業簿記総まとめ⑪（中級編） 12 商業簿記総まとめ⑫（中級編） 13 工業簿記・原価計算総まとめ①（中級編） 14 工業簿記・原価計算総まとめ②（中級編） 15 工業簿記・原価計算総まとめ③（中級編） 16 工業簿記・原価計算総まとめ④（中級編） 17 工業簿記・原価計算総まとめ⑤（中級編） 18 工業簿記・原価計算総まとめ⑥（中級編） 19 総合問題対策①（商業簿記と工業簿記_中級編） 20 総合問題対策②（商業簿記と工業簿記_中級編） 21 総合問題対策③（商業簿記と工業簿記_中級編） 22 総合問題対策④（商業簿記と工業簿記_中級編） 23 総合問題対策⑤（商業簿記と工業簿記_中級編） 24 総合問題対策⑥（商業簿記と工業簿記_中級編） 25 総合問題対策⑦（商業簿記と工業簿記_中級編） 26 総合問題対策⑧（商業簿記と工業簿記_中級編） 27 総合問題対策⑨（商業簿記と工業簿記_中級編） 28 総合問題演習①（テスト形式_中級編） 29 総合問題演習①（テスト形式_中級編） 30 総合問題演習①（テスト形式_中級編）	31 総合問題演習②（テスト形式_中級編） 32 総合問題演習②（テスト形式_中級編） 33 総合問題演習②（テスト形式_中級編） 34 総合問題演習③（テスト形式_中級編） 35 総合問題演習③（テスト形式_中級編） 36 総合問題演習③（テスト形式_中級編） 37 総合問題演習④（テスト形式_中級編） 38 総合問題演習④（テスト形式_中級編） 39 総合問題演習④（テスト形式_中級編） 40 総合問題演習⑤（テスト形式_中級編） 41 総合問題演習⑤（テスト形式_中級編） 42 総合問題演習⑥（テスト形式_中級編） 43 総合問題演習⑥（テスト形式_中級編） 44 総合問題演習⑦（テスト形式_中級編） 45 総合問題演習⑦（テスト形式_中級編） 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級簿記総合Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	株式会社の会計処理を問題演習、総合問題の演習を通じて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記2級の応用的な会計知識と計算技術の習得を目的とし、かつ、有価証券報告書を読み取ることができることを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 商業簿記総まとめ①（応用編） 2 商業簿記総まとめ②（応用編） 3 商業簿記総まとめ③（応用編） 4 商業簿記総まとめ④（応用編） 5 商業簿記総まとめ⑤（応用編） 6 商業簿記総まとめ⑥（応用編） 7 商業簿記総まとめ⑦（応用編） 8 商業簿記総まとめ⑧（応用編） 9 商業簿記総まとめ⑨（応用編） 10 商業簿記総まとめ⑩（応用編） 11 商業簿記総まとめ⑪（応用編） 12 商業簿記総まとめ⑫（応用編） 13 工業簿記・原価計算総まとめ①（応用編） 14 工業簿記・原価計算総まとめ②（応用編） 15 工業簿記・原価計算総まとめ③（応用編） 16 工業簿記・原価計算総まとめ④（応用編） 17 工業簿記・原価計算総まとめ⑤（応用編） 18 工業簿記・原価計算総まとめ⑥（応用編） 19 総合問題対策①（商業簿記と工業簿記_応用編） 20 総合問題対策②（商業簿記と工業簿記_応用編） 21 総合問題対策③（商業簿記と工業簿記_応用編） 22 総合問題対策④（商業簿記と工業簿記_応用編） 23 総合問題対策⑤（商業簿記と工業簿記_応用編） 24 総合問題対策⑥（商業簿記と工業簿記_応用編） 25 総合問題対策⑦（商業簿記と工業簿記_応用編） 26 総合問題対策⑧（商業簿記と工業簿記_応用編） 27 総合問題対策⑨（商業簿記と工業簿記_応用編） 28 総合問題演習①（テスト形式_応用編） 29 総合問題演習①（テスト形式_応用編） 30 総合問題演習①（テスト形式_応用編）	31 総合問題演習②（テスト形式_応用編） 32 総合問題演習②（テスト形式_応用編） 33 総合問題演習②（テスト形式_応用編） 34 総合問題演習③（テスト形式_応用編） 35 総合問題演習③（テスト形式_応用編） 36 総合問題演習③（テスト形式_応用編） 37 総合問題演習④（テスト形式_応用編） 38 総合問題演習④（テスト形式_応用編） 39 総合問題演習④（テスト形式_応用編） 40 総合問題演習⑤（テスト形式_応用編） 41 総合問題演習⑤（テスト形式_応用編） 42 総合問題演習⑥（テスト形式_応用編） 43 総合問題演習⑥（テスト形式_応用編） 44 総合問題演習⑦（テスト形式_応用編） 45 総合問題演習⑦（テスト形式_応用編） 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	ITキャリアデザインⅢ		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース		
履修年次	2年次		
開講学期	前期		
科目区分	必修		
授業方法	演習		
授業時間	60時間（2単位）		
授業コマ数	30コマ（1コマ90分）		
授業概要	採用試験に合格するための各種対策授業		
授業の進め方	テキストによる講義と実技的な演習		
達成目標	就職活動において採用試験に合格する		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	求人確認 1	31
	2	面接トレーニング 1	32
	3	業界研究 1	33
	4	業界研究 2	34
	5	業界研究 3	35
	6	求人確認 2	36
	7	面接トレーニング 2	37
	8	職種研究 1	38
	9	職種研究 2	39
	10	職種研究 3	40
	11	求人確認 3	41
	12	面接トレーニング 3	42
	13	企業研究 1	43
	14	企業研究 2	44
	15	企業研究 3	45
	16	求人確認 4	46
	17	面接トレーニング 4	47
	18	適性試験対策 1	48
	19	適性試験対策 2	49
	20	適性試験対策 3	50
	21	求人確認 5	51
	22	面接トレーニング 5	52
	23	エントリーシート対策 1	53
	24	エントリーシート対策 2	54
	25	エントリーシート対策 3	55
	26	求人確認 6	56
	27	面接トレーニング 6	57
	28	グループディスカッション対策 1	58
	29	グループディスカッション対策 2	59
	30	効果測定 面接	60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定で評価		
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	ITキャリアデザインⅣ		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース		
履修年次	2年次		
開講学期	前期		
科目区分	必修		
授業方法	演習		
授業時間	60時間（2単位）		
授業コマ数	30コマ（1コマ90分）		
授業概要	採用試験に合格するための各種対策授業		
授業の進め方	テキストによる講義と実技的な演習		
達成目標	就職活動において採用試験に合格する		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	求人確認 1	31
	2	面接トレーニング 1	32
	3	面接トレーニング 2	33
	4	適性試験対策 1	34
	5	適性試験対策 2	35
	6	求人確認 2	36
	7	面接トレーニング 3	37
	8	面接トレーニング 4	38
	9	エントリーシート対策 1	39
	10	エントリーシート対策 2	40
	11	求人確認 3	41
	12	面接トレーニング 5	42
	13	面接トレーニング 6	43
	14	グループディスカッション対策 1	44
	15	グループディスカッション対策 2	45
	16	求人確認 4	46
	17	面接トレーニング 7	47
	18	面接トレーニング 8	48
	19	適性試験対策 3	49
	20	適性試験対策 4	50
	21	求人確認 5	51
	22	面接トレーニング 9	52
	23	面接トレーニング 10	53
	24	エントリーシート対策 3	54
	25	エントリーシート対策 4	55
	26	求人確認 6	56
	27	面接トレーニング 11	57
	28	面接トレーニング 12	58
	29	企業研究レポート作成	59
	30	効果測定 企業研究レポート	60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定で評価		
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	ビジネスマナー I		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース		
履修年次	2年次		
開講学期	前期		
科目区分	必修		
授業方法	演習		
授業時間	30時間（1単位）		
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）		
授業概要	基本的なビジネスマナーについて学習する		
授業の進め方	テキストによる講義と実技的な演習		
達成目標	社会人として必要なビジネスマナーを理解し身につける		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	ガイダンス	31
	2	学校と職場の違い	32
	3	職場のマナー	33
	4	仕事の進め方	34
	5	「ほう・れん・そう」とは	35
	6	挨拶の種類	36
	7	笑顔・お辞儀	37
	8	正しい敬語の使い方	38
	9	応対の基本	39
	10	電話応対のマナー	40
	11	電話の受け方	41
	12	電話のかけ方	42
	13	状況別の電話応対	43
	14	効果測定対策	44
	15	効果測定 電話応対実技	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定で評価		
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	クラウドコンピューティング	
実務家教員	○	
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	AWSを利用したクラウドコンピューティングの実装	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	クラウド環境で高可用性を実現するWeb開発環境の実装	
教科書	AWS Academy提供 テキスト	
特記		
授業計画	1 オンプレミス環境の構築 基礎講義 2 オンプレミス環境の構築 基礎実習1 3 オンプレミス環境の構築 基礎実習2 4 オンプレミス環境の構築 応用講義 5 オンプレミス環境の構築 応用実習1 6 オンプレミス環境の構築 応用実習2 7 オンプレミスとクラウドの比較 8 クラウドコンピューティング概要 9 クラウドエコノミクス 10 AWSインフラストラクチャと主要なサービス 11 コンピューティングサービス 12 Amazon EC2 コンピューティング実習 13 ストレージサービス:EBS 14 EBS ストレージ構築・活用実習 15 ストレージサービス:Amazon S3 16 Amazon S3 ストレージ構築・活用実習 17 ストレージサービス: EFS・Glacier概要 18 AWS VPC概要 19 AWS セキュリティグループ 20 VPC+Webサーバ構築実習 21 AWS Cloud Front概要 22 Amazon RDS 23 RDS環境構築実習 24 Amazon DynamoDB 25 DynamoDB環境構築実習 26 Redshift/Aurora 概要 27 高可用性DB 構築実習① 28 高可用性DB 構築実習② 29 Elastic Load Balancing (ELB) 30 Amazon CloudWatch	31 Auto Scaling 32 負荷分散とScalingの実装実習① 33 負荷分散とScalingの実装実習② 34 クラウドのセキュリティ 35 IAMロールとポリシー 36 ベストプラクティスとコンプライアンス 37 AWSセキュリティ実装実習① 38 AWSセキュリティ実装実習② 39 クラウドアーキテクチャの設計① 40 クラウドアーキテクチャの設計② 41 クラウドの請求とサポートサービス 42 総合実習① 43 総合実習② 44 総合実習③ 45 効果測定2
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	クラウドネイティブ開発	
実務家教員	○	
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	AWS Lambdaを使用したクラウドネイティブシステムの基礎を実習する	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習	
達成目標	AWS Lambdaを通じてクラウドネイティブシステム構築の基礎を理解する	
教科書	AWS Lambda実践ガイド（インプレス）	
特記		
授業計画	1 Lambda で実現するサーバーレスシステム 2 サンプル用 Lambda 関数の仕様 3 Lambda の利用に必要なアクセス権 4 Lambda 関数の作成 5 Lambda 関数の実行 6 演習（1） 7 演習（2） 8 演習（3） 9 イベントの発生とLambda 関数 10 Lambda コンテナ 11 Lambda 関数の実行 12 Lambda 関数を呼び出すイベントソース 13 定期的に Lambda 関数を実行する例 14 演習（4） 15 演習（5） 16 演習（6） 17 S3 のイベント事例 18 S3 バケットの作成 19 バケットに対するイベント 20 ライブラリ込みの Lambda 関数の作成 21 演習（7） 22 演習（8） 23 演習（9） 24 第1回効果測定 25 API Gateway のイベント事例 26 API Gateway と Lambda 関数を組み合わせる 27 API Gateway から実行される Lambda 関数を作る 28 DynamoDB の基本 29 Lambda 関数で DynamoDB にアクセスする 30 署名付き URL を発行する	31 メールの送信 32 クロスオリジンの場合の注意点 33 演習（10） 34 演習（11） 35 演習（12） 36 演習（13） 37 SQS と SNS トピックのイベント事例 38 DynamoDB テーブルによるメールアドレス管理 39 S3 バケットとSQS を構成する 40 SQS からメッセージを取り出してメールを送信する 41 バウンスメールを処理する 42 演習（14） 43 演習（15） 44 演習（16） 45 第2回効果測定 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	卒業研究開発 I	
実務家教員	○	
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	システム開発における企画立案、ユースケース図の作成	
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得	
達成目標	企画立案をおこない、ユースケース図を完成させる	
教科書	履修済科目で使用した教科書複数	
特記		
授業計画	1 卒業研究とは 2 業界研究 1 3 業界研究 2 4 業界研究 3 5 企画立案 1 6 企画立案 2 7 企画立案 3 8 企画立案 4 9 企画立案 5 10 企画立案 6 11 企画書の作成 1 12 企画書の作成 2 13 企画書の作成 3 14 企画書の作成 4 15 中間発表準備 1 16 中間発表準備 2 17 中間発表準備 3 18 中間発表 1 19 ドメインモデリングの理論 20 ドメインモデリングの実践 21 ドメインモデリング分析 1 22 ドメインモデリング分析 2 23 ユースケースモデリングの理論 24 ユースケースモデリングの実践 25 ユースケースモデリング分析 1 26 ユースケースモデリング分析 2 27 ユースケースモデリング分析 3 28 ユースケースモデリング分析 4 29 ユースケースモデリング分析 5 30 ユースケースモデリング分析 6	31 ユースケースモデリング分析 7 32 ユースケースモデリング分析 8 33 ユースケースモデリング分析 9 34 ユースケースモデリング分析 10 35 ユースケースモデリング分析 11 36 ユースケースモデリング分析 12 37 ユースケースモデリング分析 13 38 ユースケースモデリング分析 14 39 要求レビューの理論 40 要求レビューの実践 41 要求レビュー 1 42 要求レビュー 2 43 要求レビュー 3 44 要求レビュー 4 45 要求レビュー 5 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	卒業研究開発Ⅱ			
実務家教員	○			
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース			
履修年次	2年次			
開講学期	後期			
科目区分	必修			
授業方法	実習			
授業時間	90時間（3単位）			
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）			
授業概要	システム開発におけるロバストネス図の作成、シーケンス図の作成			
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得			
達成目標	ロバストネス図の完成			
教科書	履修済科目で使用した教科書複数			
特記				
授業計画	1	中間発表準備 1	31	シーケンス図作成 2
	2	中間発表準備 2	32	シーケンス図作成 3
	3	中間発表準備 3	33	シーケンス図作成 4
	4	中間発表準備 4	34	シーケンス図作成 5
	5	中間発表	35	シーケンス図作成 6
	6	ロバストネス分析の理論	36	シーケンス図作成 7
	7	ロバストネス分析の実践	37	シーケンス図作成 8
	8	ロバストネス分析 1	38	シーケンス図作成 9
	9	ロバストネス分析 2	39	シーケンス図作成 1 0
	10	ロバストネス分析 3	40	シーケンス図作成 1 1
	11	ロバストネス分析 4	41	シーケンス図作成 1 2
	12	ロバストネス分析 5	42	シーケンス図作成 1 3
	13	ロバストネス分析 6	43	シーケンス図作成 1 4
	14	ロバストネス分析 7	44	シーケンス図作成 1 5
	15	ロバストネス分析 8	45	シーケンス図作成 1 6
	16	予備設計レビューの理論	46	
	17	予備設計レビューの実践	47	
	18	予備設計レビュー 1	48	
	19	予備設計レビュー 2	49	
	20	予備設計レビュー 3	50	
	21	予備設計レビュー 4	51	
	22	予備設計レビュー 5	52	
	23	予備設計レビュー 6	53	
	24	予備設計レビュー 7	54	
	25	予備設計レビュー 8	55	
	26	テクニカルアーキテクチャの理論	56	
	27	テクニカルアーキテクチャの実践	57	
	28	シーケンス図作成の理論	58	
	29	シーケンス図作成の実践	59	
	30	シーケンス図作成 1	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評			
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	卒業研究開発Ⅲ			
実務家教員	○			
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース			
履修年次	2年次			
開講学期	後期			
科目区分	必修			
授業方法	実習			
授業時間	90時間（3単位）			
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）			
授業概要	システム開発におけるシーケンス図の作成、ソースコードの作成			
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得			
達成目標	シーケンス図の作成			
教科書	履修済科目で使用した教科書複数			
特記				
授業計画	1	シーケンス図作成 1	31	プログラミング(開発) 1
	2	シーケンス図作成 2	32	プログラミング(開発) 2
	3	シーケンス図作成 3	33	プログラミング(開発) 3
	4	シーケンス図作成 4	34	プログラミング(開発) 4
	5	シーケンス図作成 5	35	プログラミング(開発) 5
	6	シーケンス図作成 6	36	プログラミング(開発) 6
	7	シーケンス図作成 7	37	プログラミング(開発) 7
	8	シーケンス図作成 8	38	プログラミング(開発) 8
	9	シーケンス図作成 9	39	プログラミング(開発) 9
	10	シーケンス図作成 1 0	40	プログラミング(開発) 1 0
	11	シーケンス図作成 1 1	41	プログラミング(開発) 1 1
	12	シーケンス図作成 1 2	42	プログラミング(開発) 1 2
	13	シーケンス図作成 1 3	43	プログラミング(開発) 1 3
	14	シーケンス図作成 1 4	44	プログラミング(開発) 1 4
	15	シーケンス図作成 1 5	45	プログラミング(開発) 1 5
	16	シーケンス図作成 1 6	46	
	17	詳細設計レビューの理論	47	
	18	詳細設計レビューの実践	48	
	19	詳細設計レビュー 1	49	
	20	詳細設計レビュー 2	50	
	21	詳細設計レビュー 3	51	
	22	詳細設計レビュー 4	52	
	23	詳細設計レビュー 5	53	
	24	詳細設計レビュー 6	54	
	25	詳細設計レビュー 7	55	
	26	詳細設計レビュー 8	56	
	27	詳細設計レビュー 9	57	
	28	詳細設計レビュー 1 0	58	
	29	詳細設計からコードへ	59	
	30	実装の実践	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評			
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	卒業研究開発Ⅳ			
実務家教員	○			
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース			
履修年次	2年次			
開講学期	後期			
科目区分	必修			
授業方法	実習			
授業時間	120時間（4単位）			
授業コマ数	60コマ（1コマ90分）			
授業概要	システム開発におけるソースコードの作成			
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得			
達成目標	ソースコードの作成（最終目標の50%）			
教科書	履修済科目で使用した教科書複数			
特記				
授業計画	1	プログラミング(開発) 1	31	プログラミング(開発) 3 1
	2	プログラミング(開発) 2	32	プログラミング(開発) 3 2
	3	プログラミング(開発) 3	33	プログラミング(開発) 3 3
	4	プログラミング(開発) 4	34	プログラミング(開発) 3 4
	5	プログラミング(開発) 5	35	プログラミング(開発) 3 5
	6	プログラミング(開発) 6	36	プログラミング(開発) 3 6
	7	プログラミング(開発) 7	37	プログラミング(開発) 3 7
	8	プログラミング(開発) 8	38	プログラミング(開発) 3 8
	9	プログラミング(開発) 9	39	プログラミング(開発) 3 9
	10	プログラミング(開発) 1 0	40	プログラミング(開発) 4 0
	11	プログラミング(開発) 1 1	41	プログラミング(開発) 4 1
	12	プログラミング(開発) 1 2	42	プログラミング(開発) 4 2
	13	プログラミング(開発) 1 3	43	プログラミング(開発) 4 3
	14	プログラミング(開発) 1 4	44	プログラミング(開発) 4 4
	15	プログラミング(開発) 1 5	45	プログラミング(開発) 4 5
	16	プログラミング(開発) 1 6	46	プログラミング(開発) 4 6
	17	プログラミング(開発) 1 7	47	プログラミング(開発) 4 7
	18	プログラミング(開発) 1 8	48	プログラミング(開発) 4 8
	19	プログラミング(開発) 1 9	49	プログラミング(開発) 4 9
	20	プログラミング(開発) 2 0	50	プログラミング(開発) 5 0
	21	プログラミング(開発) 2 1	51	プログラミング(開発) 5 1
	22	プログラミング(開発) 2 2	52	プログラミング(開発) 5 2
	23	プログラミング(開発) 2 3	53	プログラミング(開発) 5 3
	24	プログラミング(開発) 2 4	54	プログラミング(開発) 5 4
	25	プログラミング(開発) 2 5	55	プログラミング(開発) 5 5
	26	プログラミング(開発) 2 6	56	プログラミング(開発) 5 6
	27	プログラミング(開発) 2 7	57	プログラミング(開発) 5 7
	28	プログラミング(開発) 2 8	58	プログラミング(開発) 5 8
	29	プログラミング(開発) 2 9	59	プログラミング(開発) 5 9
	30	プログラミング(開発) 3 0	60	プログラミング(開発) 6 0
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評			
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	卒業研究開発Ⅴ			
実務家教員	○			
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース			
履修年次	2年次			
開講学期	後期			
科目区分	必修			
授業方法	実習			
授業時間	120時間（4単位）			
授業コマ数	60コマ（1コマ90分）			
授業概要	システム開発におけるソースコードの作成、テストの実践			
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得			
達成目標	ソースコードの完成、テストの実践			
教科書	履修済科目で使用した教科書複数			
特記				
授業計画	1	卒業研究発表会準備1	31	テストの実践4
	2	卒業研究発表会準備2	32	テストの実践5
	3	卒業研究発表会準備3	33	テストの実践6
	4	卒業研究発表会準備4	34	テストの実践7
	5	卒業研究発表会	35	テストの実践8
	6	プログラミング(開発)1	36	テストの実践9
	7	プログラミング(開発)2	37	テストの実践10
	8	プログラミング(開発)3	38	テストの実践11
	9	プログラミング(開発)4	39	テストの実践12
	10	プログラミング(開発)5	40	テストの実践13
	11	プログラミング(開発)6	41	テストの実践14
	12	プログラミング(開発)7	42	テストの実践15
	13	プログラミング(開発)8	43	テストの実践16
	14	プログラミング(開発)9	44	プログラミングコンテスト準備1
	15	プログラミング(開発)10	45	プログラミングコンテスト準備2
	16	プログラミング(開発)11	46	プログラミングコンテスト準備3
	17	プログラミング(開発)12	47	プログラミングコンテスト準備4
	18	プログラミング(開発)13	48	プログラミングコンテスト準備5
	19	プログラミング(開発)14	49	プログラミングコンテスト準備6
	20	プログラミング(開発)15	50	プログラミングコンテスト準備7
	21	プログラミング(開発)16	51	プログラミングコンテスト準備8
	22	プログラミング(開発)17	52	プログラミングコンテスト1
	23	プログラミング(開発)18	53	プログラミングコンテスト2
	24	プログラミング(開発)19	54	プログラミングコンテスト3
	25	プログラミング(開発)20	55	プログラミングコンテスト4
	26	設計駆動テストの理論	56	プログラミングコンテスト5
	27	設計駆動テストの実践	57	プログラミングコンテスト6
	28	テストの実施1	58	プログラミングコンテスト7
	29	テストの実施2	59	プログラミングコンテスト8
	30	テストの実施3	60	卒業研究振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評			
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	AI基礎プログラミング	
実務家教員	○	
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	Pythonにより最低限のライブラリで実装するAIシステムの実装	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習	
達成目標	深層学習システムに必須な基本的技術の実装に対応できる	
教科書	PythonによるAIプログラミング入門（オライリー）	
特記		
授業計画	1 人工知能の概要 2 教師あり学習を用いた分類と回帰（1） 3 教師あり学習を用いた分類と回帰（2） 4 教師あり学習を用いた分類と回帰（3） 5 アンサンブル学習を用いた予測分析（1） 6 アンサンブル学習を用いた予測分析（2） 7 教師なし学習を用いたパターン検出（1） 8 教師なし学習を用いたパターン検出（2） 9 教師なし学習を用いたパターン検出（3） 10 推薦エンジンを作る（1） 11 推薦エンジンを作る（2） 12 論理プログラミング（1） 13 論理プログラミング（2） 14 ヒューリスティック探索（1） 15 ヒューリスティック探索（2） 16 ヒューリスティック探索（3） 17 遺伝的アルゴリズム（1） 18 遺伝的アルゴリズム（2） 19 遺伝的アルゴリズム（3） 20 人工知能を使ったゲーム（1） 21 人工知能を使ったゲーム（2） 22 人工知能を使ったゲーム（3） 23 第1回効果測定 24 自然言語処理（1） 25 自然言語処理（2） 26 自然言語処理（3） 27 連続データの確率的推論（1） 28 連続データの確率的推論（2） 29 連続データの確率的推論（3） 30 音声認識（1）	31 音声認識（2） 32 音声認識（3） 33 物体検出と追跡（1） 34 物体検出と追跡（2） 35 物体検出と追跡（3） 36 人工ニューラルネットワーク（1） 37 人工ニューラルネットワーク（2） 38 人工ニューラルネットワーク（3） 39 強化学習（1） 40 強化学習（2） 41 強化学習（3） 42 畳み込みニューラルネットワークを用いたディープラーニング（1） 43 畳み込みニューラルネットワークを用いたディープラーニング（2） 44 畳み込みニューラルネットワークを用いたディープラーニング（3） 45 第2回効果測定 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	IoTシステム基礎	
実務家教員	○	
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	IoTの仕組みを学び、PythonおよびIoT関連ライブラリを使用してIoTの基礎的な実装を実習する	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習	
達成目標	IoTの仕組みの理解、IoT関連ライブラリを使用したIoTシステム実装の理解	
教科書	Pythonで動かして学ぶ！あたらしいIoTの教科書（翔泳社）	
特記		
授業計画	1 IoTの概要 2 IoTの仕組み 3 Raspberry Piのセットアップ 4 Raspberry Piの初期化 5 Raspberry Piにリモートアクセスする（1） 6 Raspberry Piにリモートアクセスする（2） 7 Raspberry Piを使ってLEDを点滅させる（1） 8 Raspberry Piを使ってLEDを点滅させる（2） 9 演習（1） 10 演習（2） 11 演習（3） 12 センサーによるデータの取得（1） 13 センサーによるデータの取得（2） 14 演習（4） 15 演習（5） 16 演習（6） 17 クラウドストレージにデータを保存する（1） 18 クラウドストレージにデータを保存する（2） 19 演習（7） 20 演習（8） 21 演習（9） 22 第1回効果測定 23 IoTとデータの可視化（1） 24 IoTとデータの可視化（2） 25 演習（10） 26 演習（11） 27 演習（12） 28 IoTとアクチュエーターの遠隔操作（1） 29 IoTとアクチュエーターの遠隔操作（2） 30 演習（13）	31 演習（14） 32 演習（15） 33 IoTとAI（1） 34 IoTとAI（2） 35 IoTとAI（3） 36 IoTとAI（4） 37 演習（16） 38 演習（17） 39 演習（18） 40 IoTとセキュリティ（1） 41 IoTとセキュリティ（2） 42 演習（19） 43 演習（20） 44 演習（21） 45 第2回効果測定 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	IT基礎知識 V		
実務家教員授業			
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	演習		
授業時間	60単位時間		
授業コマ数	30コマ		
授業概要	IT基礎知識の学習：テクノロジ系、マネジメント系、ストラテジ系		
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義		
達成目標	基本情報技術者試験の午後科目試験に合格できるレベルに達する		
教科書	答案作成練習問題		
特記			
授業計画	1	総合答案練習問題 1	31
	2	総合答案練習問題 1	32
	3	総合答案練習問題 1	33
	4	総合答案練習問題 2	34
	5	総合答案練習問題 2	35
	6	総合答案練習問題 2	36
	7	総合答案練習問題 3	37
	8	総合答案練習問題 3	38
	9	総合答案練習問題 3	39
	10	総合答案練習問題 4	40
	11	総合答案練習問題 4	41
	12	総合答案練習問題 4	42
	13	総合答案練習問題 5	43
	14	総合答案練習問題 5	44
	15	総合答案練習問題 5	45
	16	総合答案練習問題 6	46
	17	総合答案練習問題 6	47
	18	総合答案練習問題 6	48
	19	総合答案練習問題検証	49
	20	総合答案練習問題検証	50
	21	総合答案練習問題検証	51
	22	直前答案練習問題 1	52
	23	直前答案練習問題 1	53
	24	直前答案練習問題 1	54
	25	直前答案練習問題 2	55
	26	直前答案練習問題 2	56
	27	直前答案練習問題 2	57
	28	直前答案練習問題検証	58
	29	直前答案練習問題検証	59
	30	直前答案練習問題検証	60
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価		
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Java	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	120時間（4単位）	
授業コマ数	60コマ（1コマ90分）	
授業概要	Javaの基本文法とオブジェクト指向プログラミング	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習	
達成目標	オブジェクト指向プログラミングをベースとした各種プログラムをJavaで実装できる	
教科書	新・明解Java入門（SBクリエイティブ）、Java8問題集（SCC Books）	
特記		
授業計画	1 はじめてのJava 2 変数を使う 3 制御構文・分岐（1） if文（1） 4 制御構文・分岐（2） if文（2） 5 制御構文・分岐（3） switch文 キーワード・識別子・演算子 6 制御構文・繰り返し（1） do-while文 7 制御構文・繰り返し（2） while文 8 制御構文・繰り返し（3） for文 9 制御構文・繰り返し（4） 10 基本型と演算 11 配列（1） 12 配列（2） 13 配列（3） 14 演習（1） 15 効果測定 Java（1） 16 メソッド（1） 17 メソッド（2） 18 メソッド（3） 19 クラスの基本（1） 20 クラスの基本（2） 21 日付クラスの作成（1） 22 日付クラスの作成（2） 23 クラス変数とクラスメソッド（1） 24 クラス変数とクラスメソッド（2） 25 クラス変数とクラスメソッド（3） 26 パッケージ 27 クラスの派生と多相姓（1） 28 クラスの派生と多相姓（1） 29 クラスの派生と多相姓（1） 30 効果測定 Java（2）	31 抽象クラス（1） 32 抽象クラス（2） 33 インタフェース（1） 34 インタフェース（1） 35 演習（2） 36 文字と文字列（1） 37 文字と文字列（2） 38 例外処理（1） 39 例外処理（2） 40 効果測定 Java（3） 41 総合演習 ようこそJavaの世界へ 42 総合演習 はじめてのJavaプログラム 43 総合演習 基本的なJavaプログラムの構造 44 総合演習 コンピュータで扱うデータ表現 45 総合演習 変数／定数と型 46 総合演習 演算と演算子 47 総合演習 配列の宣言・生成（1） 48 総合演習 配列の宣言・生成（2） 49 総合演習 制御文（1） 50 総合演習 制御文（2） 51 総合演習 クラスとオブジェクト（1） 52 総合演習 クラスとオブジェクト（2） 53 総合演習 クラスの関係を深める（1） 54 総合演習 クラスの関係を深める（2） 55 総合演習 クラスの継承（1） 56 総合演習 クラスの継承（2） 57 総合演習 例外処理（1） 58 総合演習 例外処理（2） 59 まとめ 60 効果測定 Java（4）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 応用的な知識を測定する試験で評価	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	PHP	
実務家教員	○	
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	PHP基本文法とサーバサイドアプリケーションの設計と実装	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習	
達成目標	サーバサイドアプリケーションをPHPで実装できる	
教科書	詳細！PHP 7 + MySQL 入門ノート（ソーテック社）	
特記	一般企業にてシステムエンジニアとして従事していた経験のある職員が、実務の経験に沿った内容をもとに授業を行う。	
授業計画	1 PHPの概要と準備 2 変数 3 演算子 4 制御構造・分岐文 5 制御構造・繰り返し文 6 関数（1） 7 関数（2） 8 文字列操作（1） 9 文字列操作（2） 10 文字列操作（3） 11 配列（1） 12 配列（2） 13 配列（3） 14 効果測定 PHP（1） 15 オブジェクト指向プログラミング（1） 16 オブジェクト指向プログラミング（2） 17 オブジェクト指向プログラミング（3） 18 オブジェクト指向プログラミング（4） 19 フォーム処理の基本（1） 20 フォーム処理の基本（2） 21 フォーム処理の基本（3） 22 各種フォームの使用（1） 23 各種フォームの使用（2） 24 各種フォームの使用（3） 25 各種フォームの使用（4） 26 セッションとクッキー（1） 27 セッションとクッキー（2） 28 セッションとクッキー（3） 29 効果測定 PHP（2） 30 ファイルの読み込みと書き出し（1）	31 ファイルの読み込みと書き出し（2） 32 ファイルの読み込みと書き出し（3） 33 phpMyAdminを使う（1） 34 phpMyAdminを使う（2） 35 MySQLを操作する（1） 36 MySQLを操作する（2） 37 MySQLを操作する（3） 38 MySQLを操作する（4） 39 総合演習（1） 40 総合演習（2） 41 総合演習（3） 42 総合演習（4） 43 総合演習（5） 44 総合演習（6） 45 効果測定 PHP（3）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、70点～79点「良」、60点～69点「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。	